



町内各地の活性化を積極的に行っていく。

# 地域活性化の推進は

## 町「脱空き家活用制度の整備をしていく」

**問** 空き家・空き店舗の対策は本町にとって緊急な課題のひとつである。今後の取り組みは。

**ふるさと定住課長** 全国的に広がりを見せている空き家バンクあるいはストックバンク制度を整備、活用することが、定住促進、地域の活性化、景観の保全及び

防犯・防災面等に大変有効である。

早い段階で実勢調査を始め、当町の実情に合わせた制度作りをしていきたい。

**問** 観光という側面からも町を守り、発展させるべく支援が必要なのは。

**町長** 平成32年を目標に観光振興基本計画を作成する。

この中に湯本や那須高原、黒田原や芦野、伊王野の地域特性や資源を生かして、魅力の創出また地域の活性化を図っていきたい。

観光は当町の主力産業のひとつ。積極的に施策を展開していきたい。

## 観光地の交通対策は

### 町 関係市町と協議し、よりよい交通体系に

**問** 住民、観光のお客様がストレスなく利用できる交通システムが必要だと思いが考えは。

**企画財政課長** 公共交通体系の利便性向上のため東野バスに延伸要望、便数の検討などの協議を行っていき

たい。また、町内だけで解決できないこともあるので関係市町との連携も図って

いきたい。

今後は、携帯端末を利用した町内のバス路線図や、時刻表などが表示できるアプリの整備を、検討をしていく。

**問** 海外からのお客様への今後の対応は。

**観光商工課長** 地方における二次交通の問題は非常に重要な課題と認識している。近隣各駅から、町内各地へ

の利便性をあげる必要がある。インバウンド協議会などの関係諸団体、那須地域定住自立圏を構成している那須塩原市などと調査研究をしていきたい

